

地域共生社会シンポジウム

～社会的孤立と8050問題を考える～

松江市においても8050問題を抱えている世帯がたくさんあります。背景には引きこもりや無職であることの言いづらさ、相談しづらさがあります。社会的孤立と8050問題から地域共生社会を考えます。

日時 令和5年1月21日(土)13時30分～15時50分

場所 松江市総合福祉センター、川津公民館
その他Zoom、YouTubeでも視聴できます。

参加費 無料

第1部 講演会

- テーマ:社会的孤立と8050問題
- 講師:ジャーナリスト 池上 正樹 氏
NPO法人 KHJ全国ひきこもり家族連合会 理事

第2部 シンポジウム

- 当事者の発表
「私が生きづらいと思ったこと」 当事者:30代男性
- くらし相談支援センターからの事例報告
- くらし相談員の発表
「相談員の立場で思ったこと」 くらし相談センター支援員

講師プロフィール

ジャーナリスト/KHJ全国ひきこもり家族会連合会広報担当理事

25年にわたり数千人の「ひきこもり」本人の話を聞いてきた。また、「KHJ全国ひきこもり家族会連合会」を発足当初からサポートし、家族の相談にも乗ってきた。東京都町田市ひきこもり専門部会委員、江戸川区ひきこもり支援協議会委員、厚労省ひきこもり広報事業企画検討委員会委員等を務める。2012年から10年間開催した対話の場「ひきこもりフューチャーセッション庵」運営者の1人。江戸川区ひきこもりオンライン居場所コーディネーター。NHK『クローズアップ現代+』『あさイチ』はじめ、テレビやラジオに多数出演。Nスペドラマ「こもりびと」、NHK土曜ドラマ「ひきこもり先生」等の監修も務める。著書は『ルポ「8050問題」～高齢親子「ひきこもり死」の現場から』（河出書房新社）、『ルポひきこもり未満』（集英社新書）、『大人のひきこもり』（講談社現代新書）など多数。日本文藝家協会会員。

【この件について問合せ先】

松東地域包括支援センター 担当:奥原
TEL 0852-24-1810 FAX 0852-28-6628

地域共生社会シンポジウム
参加申込書

FAX0852-28-6628

氏名	所属	連絡先	いずれかに○			mailアドレス (Zoom、YouTubeを 選択された方)
			会場※	Zoom	YouTube	

※会場で聴講をご希望の方は

①松江市総合福祉センター、②川津公民館のどちらかを記入して下さい。

こちらの申し込みをクリックする
かQRコードを読み取っても申し
込みが出来ます。



申込み